

5 歳児 そら組・にじ組

砂遊びが楽しいこの頃です。でも、ただ楽しいだけじゃないんです。砂遊びには、幼児期に経験したい大切な体験がたくさん詰まっているんですよ。『①変化を予測する→②確かめる→③またやってみる』遊びながら様々な発見を繰り返している子どもたち。砂遊びを通して、どんな学びや体験をしているのか、紹介します！

1. 心 砂には、子どもの体や動きをありのままに受け止めてくれる安心感があります。



めっちゃ気持ちいいよ〜♪

2. 感覚 乾いた砂、湿った砂、泥上の砂…湿度の違う砂の違いを手指や素足で感覚的に感じ取っています。

3. 体の運動 砂の上を歩いたり登ったり、深い穴を掘ったり、バケツの水を運んだりするなどの動きでバランス感覚や筋力を養います。

滑る〜！



4. 操作性 子どもたちは手指や手首、肩の動きや力の強弱を工夫しながら物を繰り返し使う中で、次第に道具として使いこなせるようになっていきます。

頑丈な山にしよう！

じゃあ、いっぱい固めなあかな



固い土と混ぜたらもっと頑丈になるんじゃない？

これ（カート）やったらいっぱい運べるよ！



5. 言葉 遊びの深まりとともに語彙が増えていきます。思いや考えを伝え合いながらやり取りすることでコミュニケーション力を身に付けていきます。

6. 社会性 友達と協力しながら遊びを進める場面が増えてきています。時には意見が合わずけんかになることも…。でもそこで相談したり、互いに納得する方法を考える経験が人と関わる力の育ちにつながります。

7. 想像と創造 イメージを形にしていく楽しさを存分に味わっています。

8. 実体験から知識へ 砂の変化を通じて大小や重さ、長さ、固さなど物質の状態に合わせて試行錯誤しながら関わり、実験的に確かめていきます。

そ〜っと水を流してみよう

やったあ貯まっていったる♪



大変！壁がつぶれた

もう一回やり直しやな。

どうやったら水の力に負けへんかな？



9. 集中力・根気強さ・達成感 うまくいかないことがあっても何度もやり直せるのが砂のいいところ！目的を達成した時の喜びは格別です。

後ちょっとで地下トンネルつながりそう

あっ手繋がった！！



クラスみんなで入れるプール完成！イエーイ



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿（砂遊びを通してねらえる姿が9個もありました）

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性、規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり、生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現